

2019年3月期 第3四半期 決算概要

2019年2月13日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証第一部)

2019年3月期 第3四半期 決算ハイライト

米国の通商政策を発端とする貿易摩擦の長期化による影響等から、中国の伸長率が鈍化。継続して、日本及び中国において景気の先行きは不透明感を拭えず。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比102.7%、8億円増の311億円。 四半期ベースでは減収となるも、累計期間では増収を確保。
	日本	前年同期比99.0%の126億円。 食品・飲料関連等が受注伸長するも、自動車関連等が軟調。
	中国	前年同期比103.8%の153億円。 貿易摩擦の影響から四半期ベースでは減収。自動車、電子部品・半導体関連が低調も、高付加価値の戦略製品がカバーし、累計期間では増収を確保。
	その他	前年同期比113.5%の31億円。 引き続き、欧州を中心として好調に推移。
利益	<p>営業利益は前年同期比98.0%の21.8億円。 原価率は改善されたが、設備投資、研究開発投資の減価償却費等による販管費の増加や工場の先行投資負担増等もあり、減益。 経常利益は前年同期比98.9%の21.5億円。 四半期純利益は前年同期比115.9%の15.8億円。</p>	
ネット資金	ベトナム工場への投資等により、期首から9.8億円減少。	



損益計算書サマリー

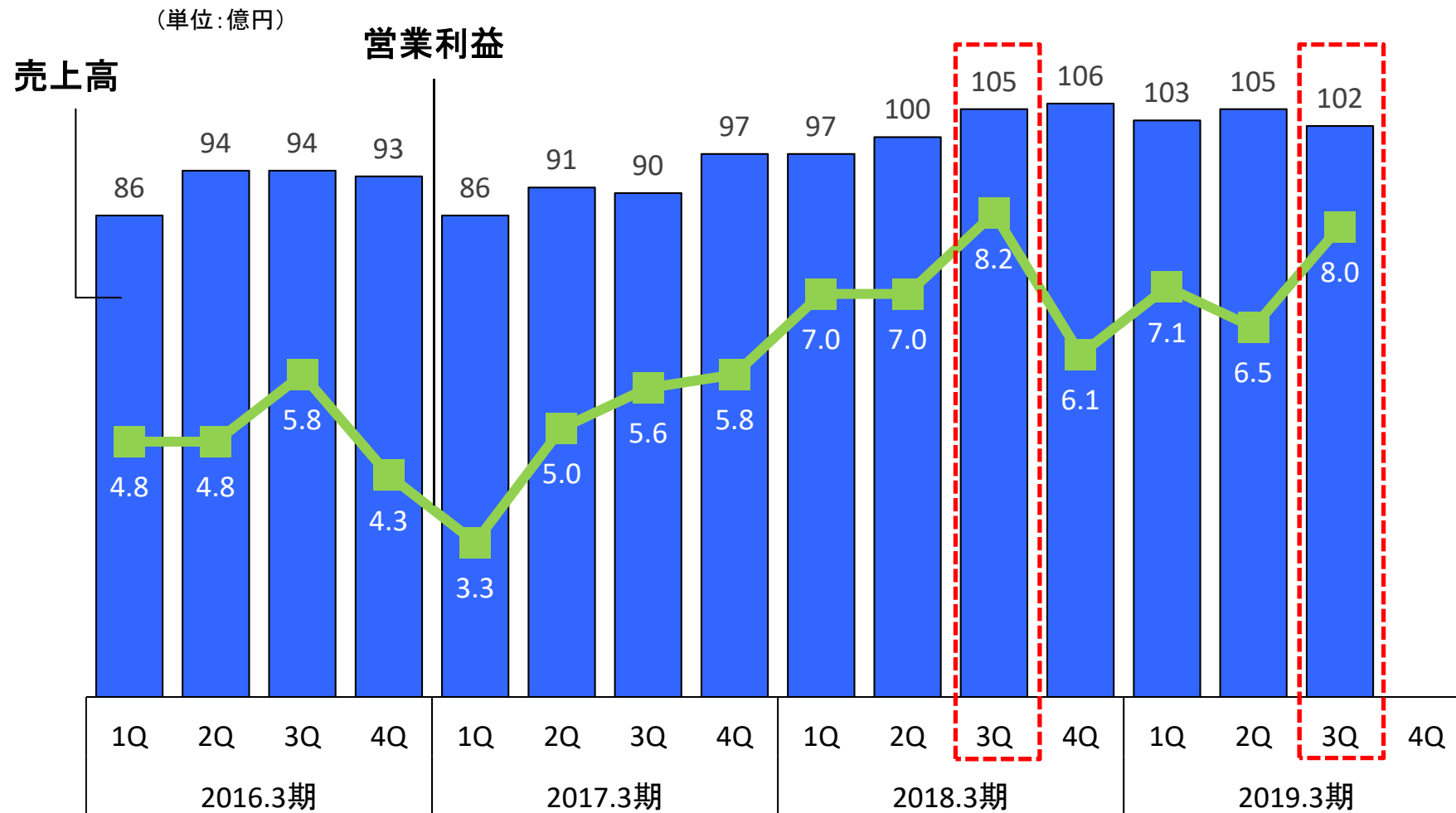
(単位:百万円)

	2018年3月期 第3四半期		2019年3月期 第3四半期		前年同期差	前年同期比
売上高		30,354		31,165	811	102.7%
営業利益	7.3%	2,225	7.0%	2,181	▲43	98.0%
経常利益	7.2%	2,182	6.9%	2,158	▲24	98.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4.5%	1,366	5.1%	1,583	217	115.9%



売上高と営業利益の推移

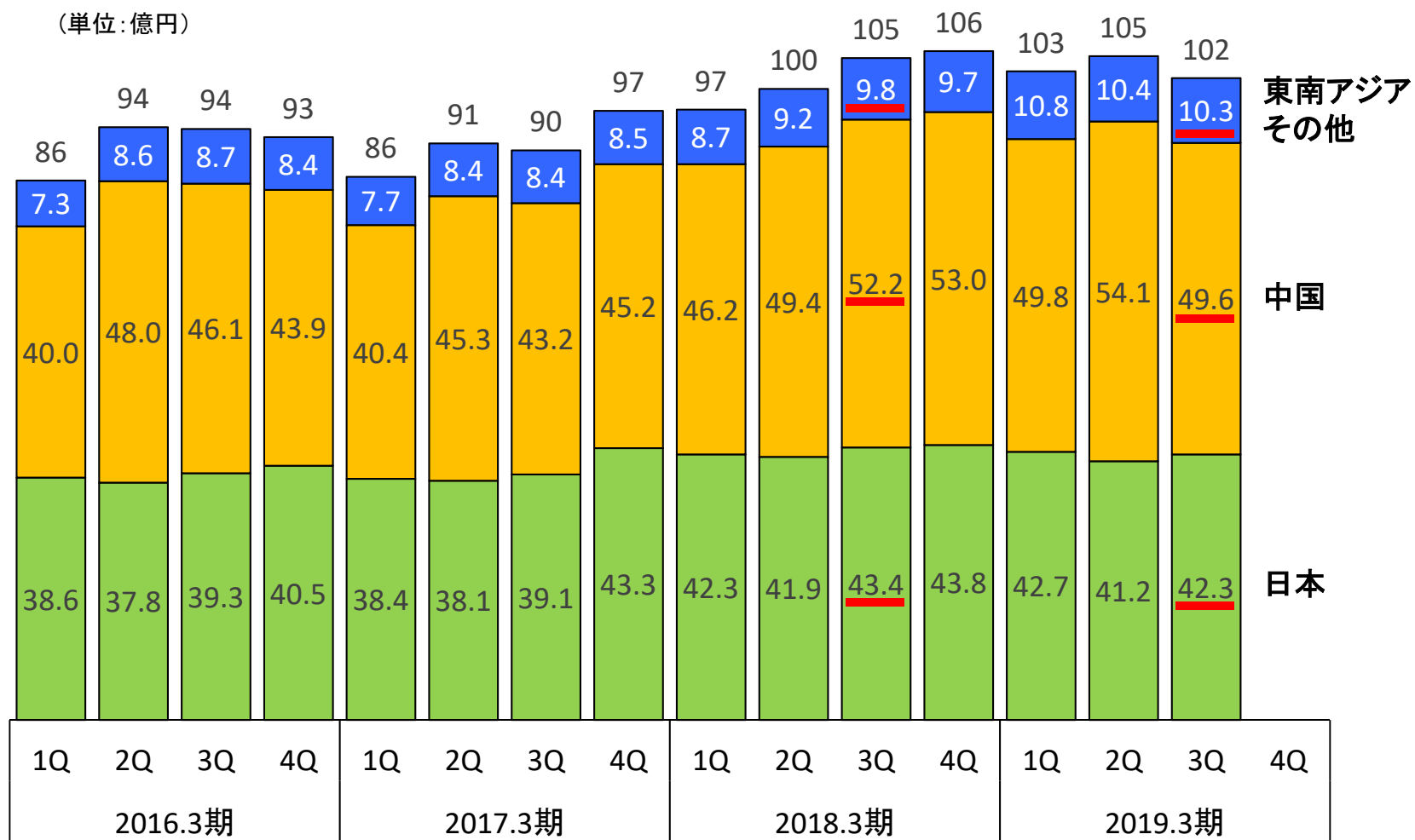
第3四半期会計期間は売上・利益ともに前年同期未達。



地域別売上高

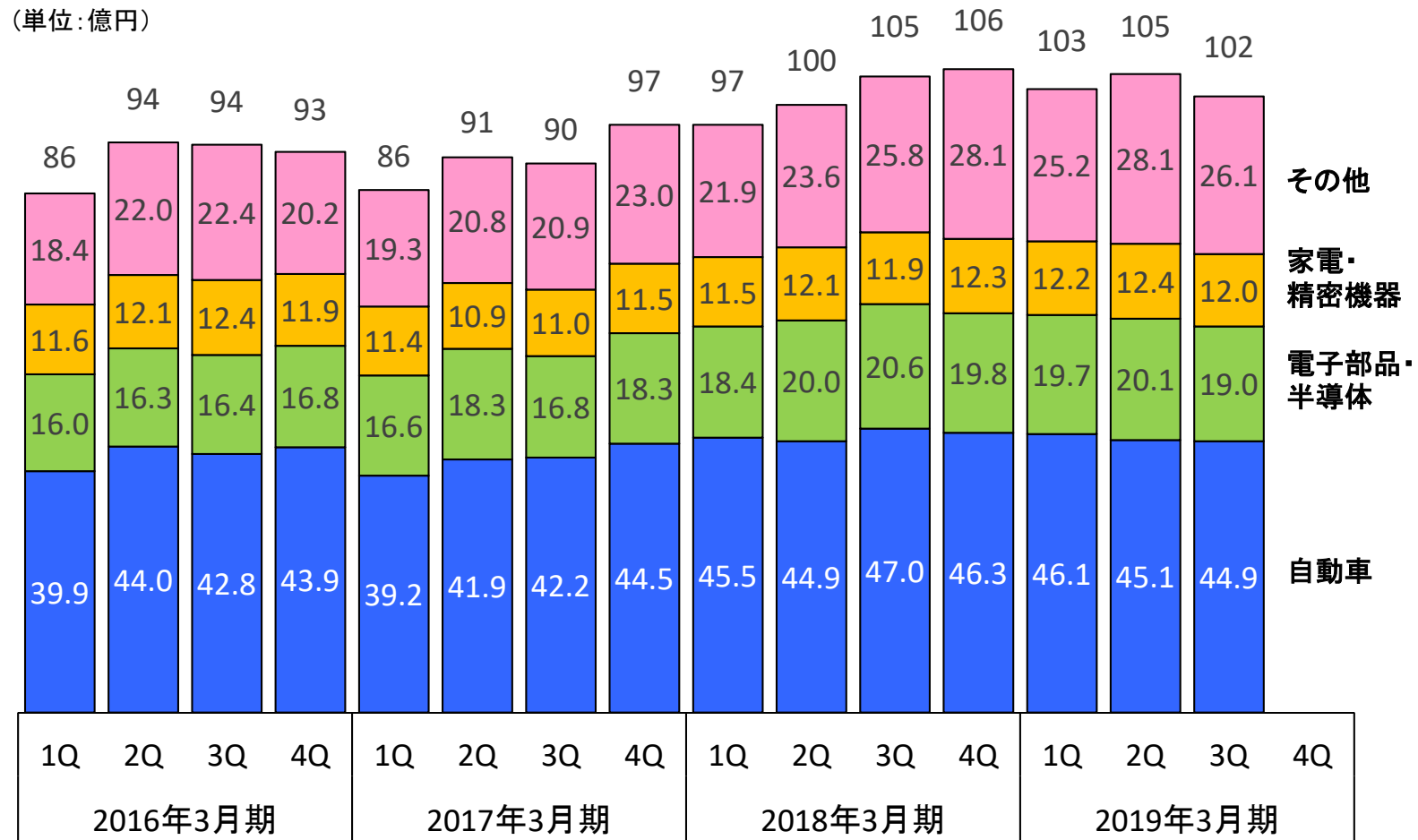
東南アジア・その他エリアは好調継続も、日本・中国エリアが前年同期未達。

(単位:億円)



業種別売上高

その他の売上が伸長するも、貢献度の高い自動車関連の売上が四半期ごとに鈍化。

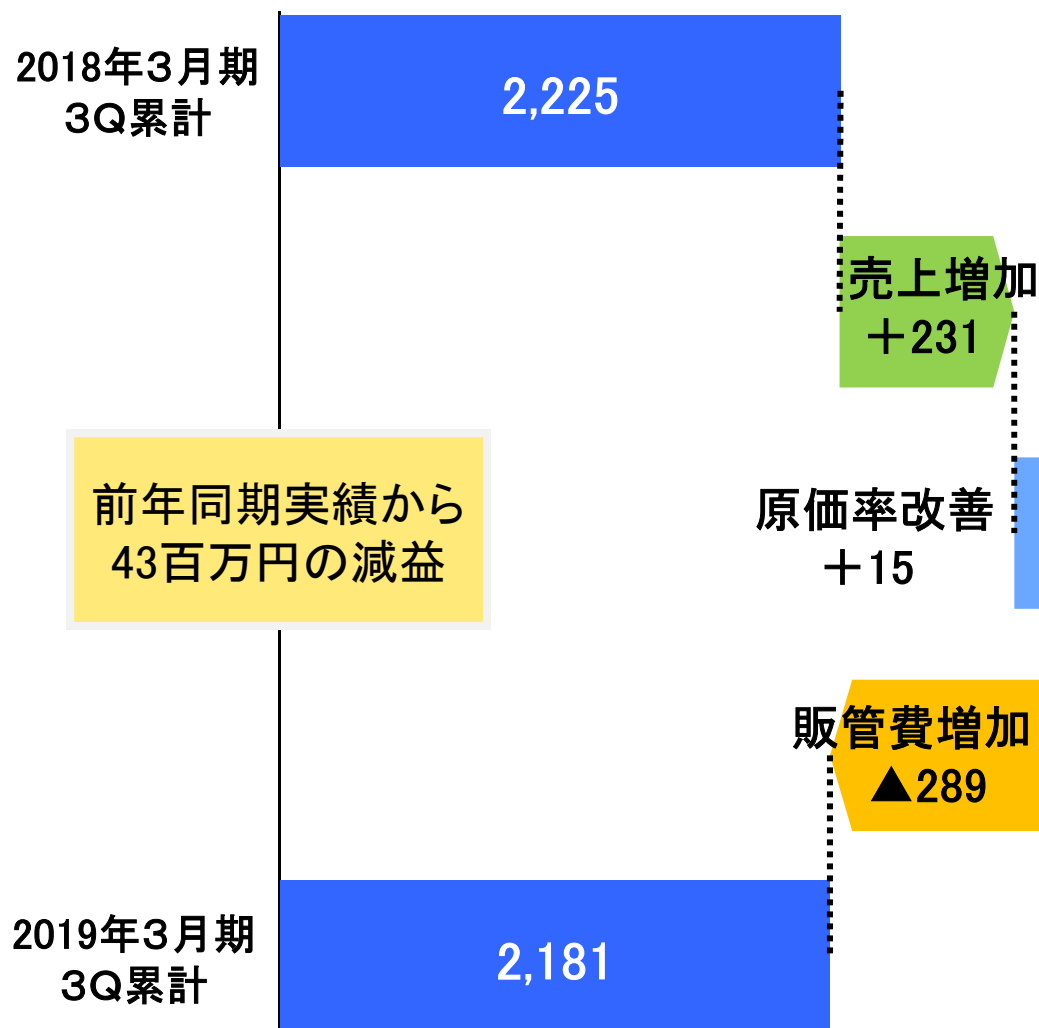


注) 中国における業種区分修正に伴い、2017年3月期のデータを修正



営業利益増減

(単位:百万円)



【売上の主な増減要因】

■グループ全体で注力している食品・飲料関連等を含む「その他」関連の売上が好調を維持

【原価率の主な増減要因】

■グループ全体で注力しているコスト削減等の効果による原価率の改善

【販管費の主な増減要因】

■デジタルエンジニアリング事業の拡大に伴う設備投資
■新分野開拓のための研究開発にかかる減価償却費の増加



貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2018年3月期末	2019年3月期 第3四半期末	比較増減
総資産	32,560	32,630	69
総負債	16,385	15,994	▲391
うち有利子負債	6,332	7,161	829
純資産	16,174	16,635	460
ネット資金	▲2,561	▲3,543	▲981
自己資本比率	49.6%	50.9%	1.3pt

	2018年3月期 第3四半期	2019年3月期 第3四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	1,939	2,410	471
減価償却費(無形固定資産含む)	1,174	1,267	93



2019年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2018年3月期 (実績)		2019年3月期 (予想)		前期差	前期比
売上高		41,025		41,000	▲25	99.9%
営業利益	6.9%	2,843	6.1%	2,500	▲343	87.9%
経常利益	6.7%	2,731	5.9%	2,400	▲331	87.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4.4%	1,788	4.3%	1,750	▲38	97.8%
自己資本利益率 (ROE)		11.8%		10.5%	▲1.3pt	

2019年3月期
配当予想(修正済)

16円75銭 = 中間 10円25銭 + 期末 6円50銭





参考資料



会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,298名(グループ連結、2018年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弹簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)



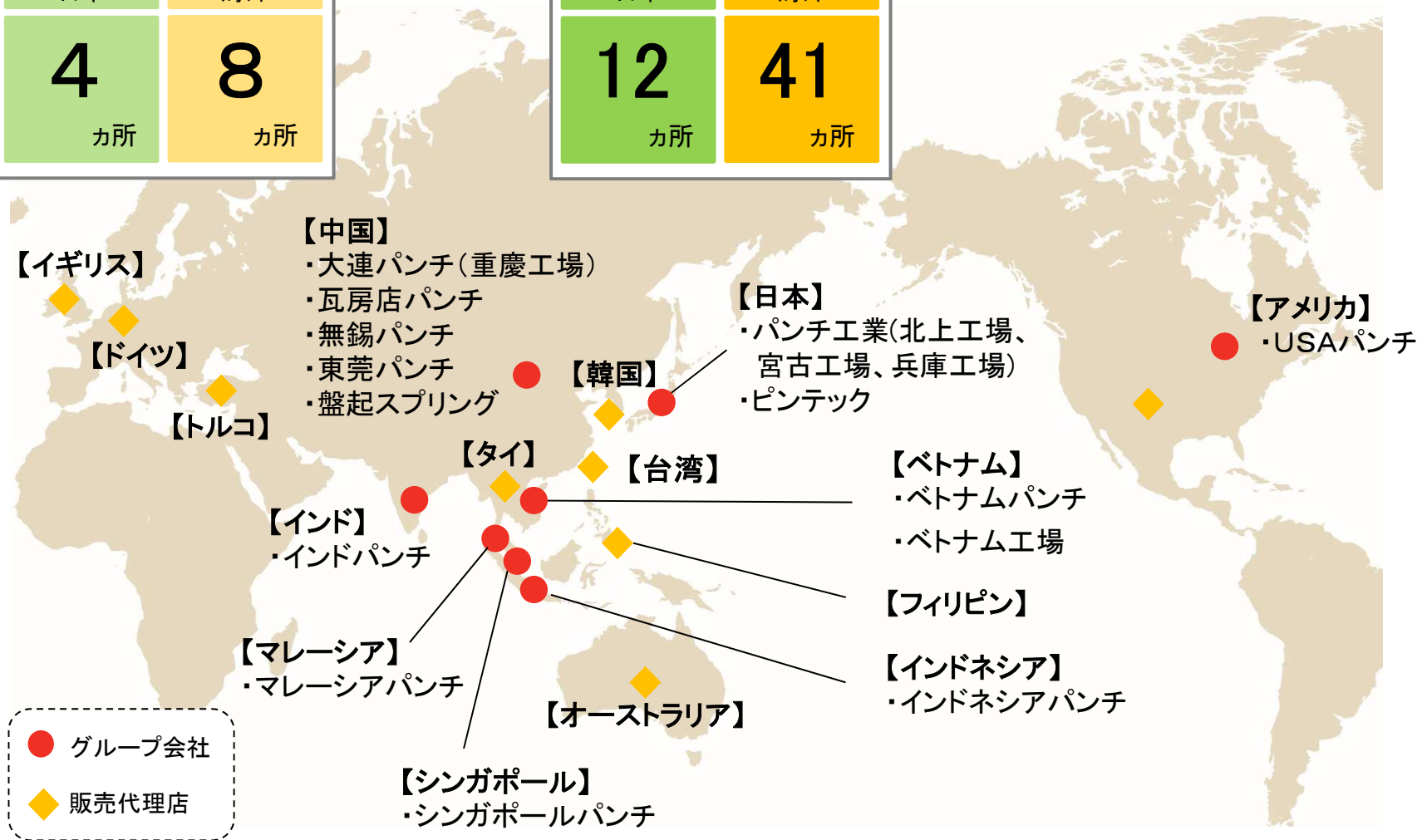
パンチグループのネットワーク

生産拠点数

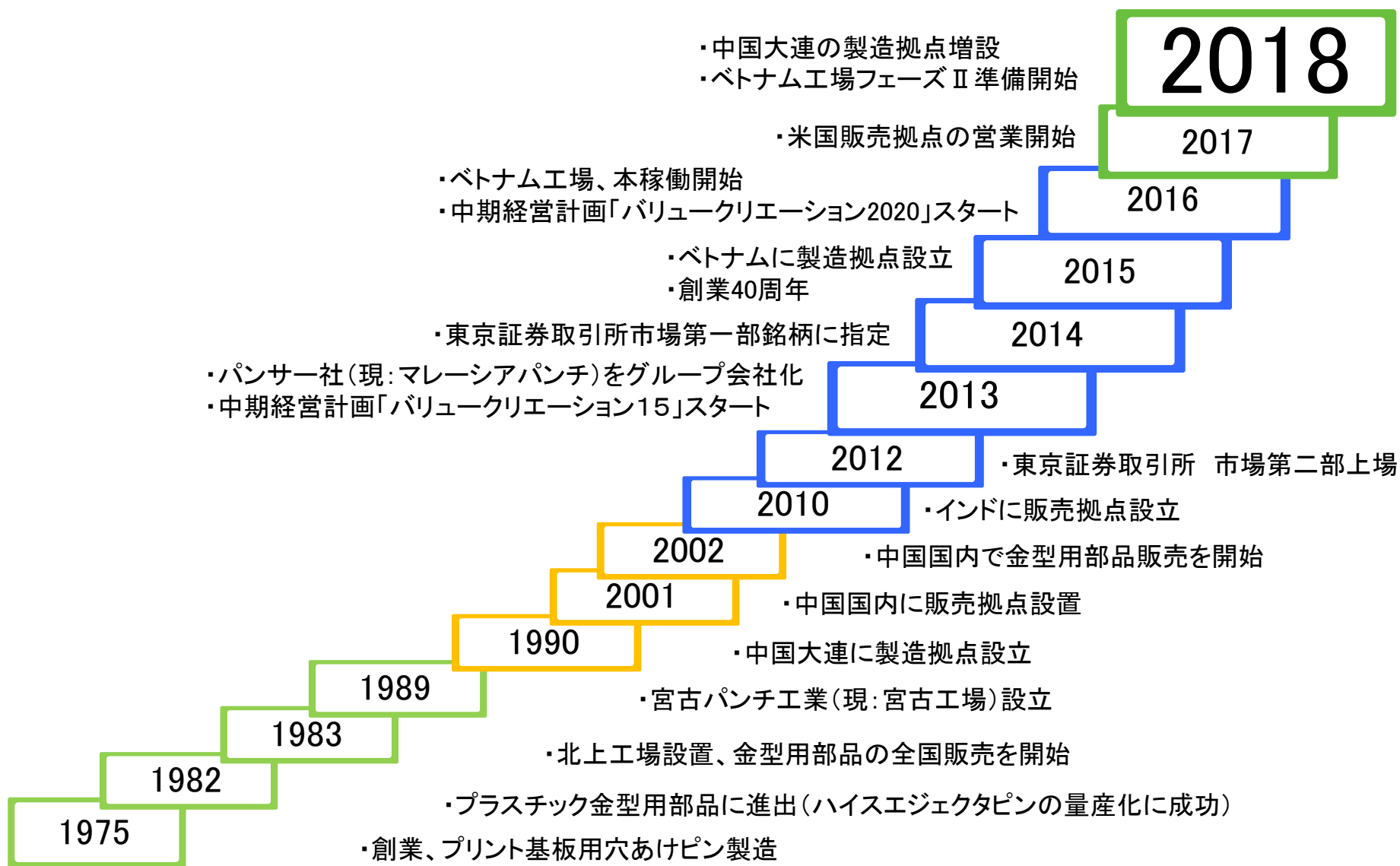
日本	海外
4 カ所	8 カ所

販売拠点数

日本	海外
12 カ所	41 カ所

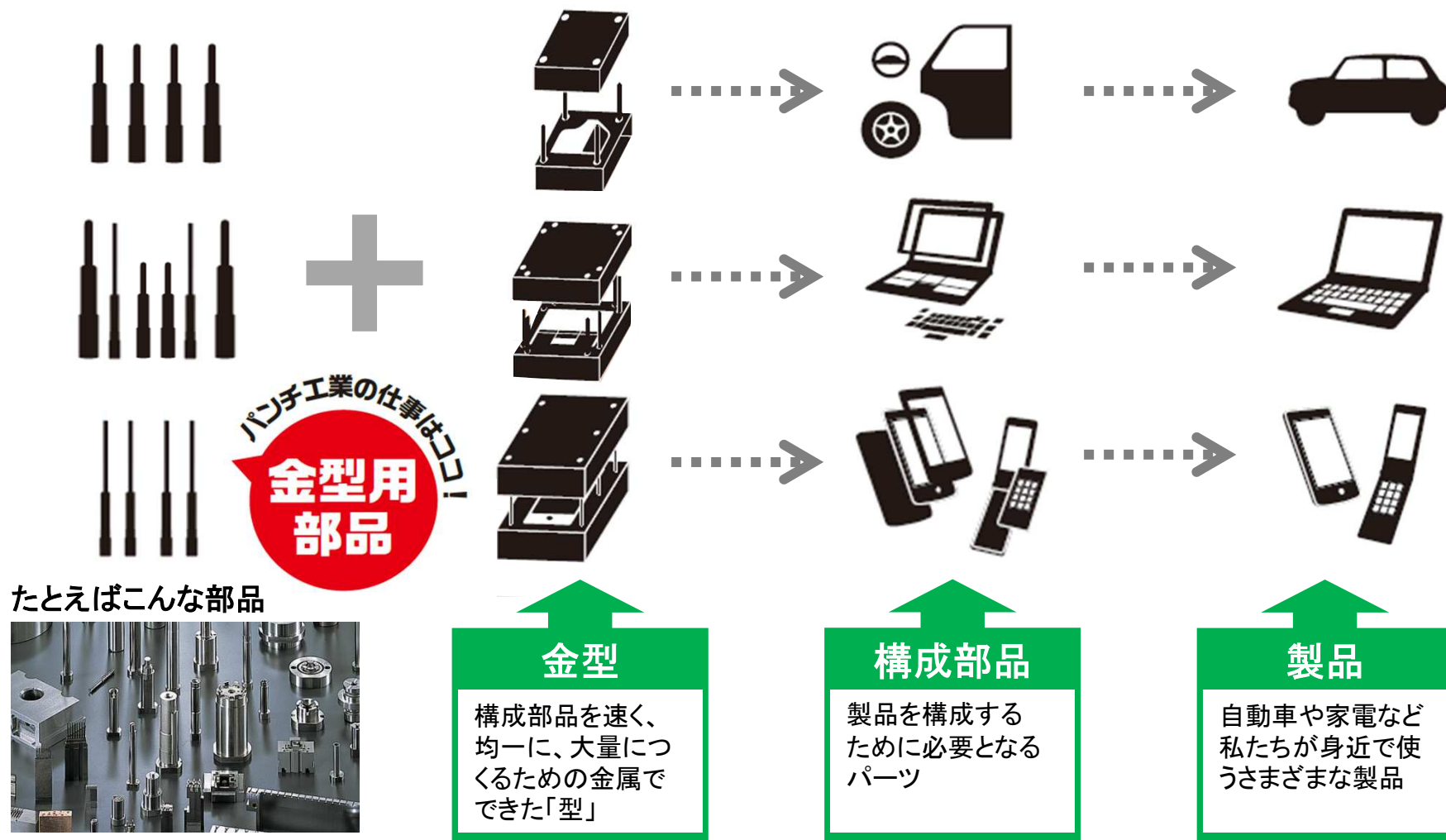


沿革

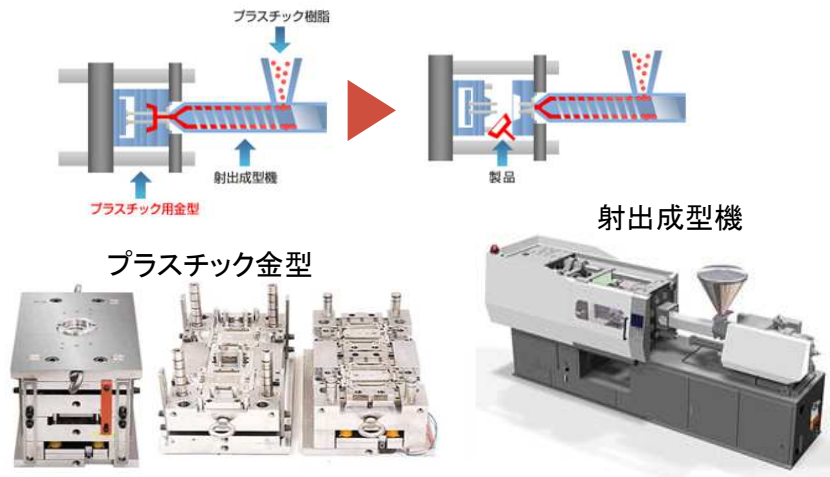


事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



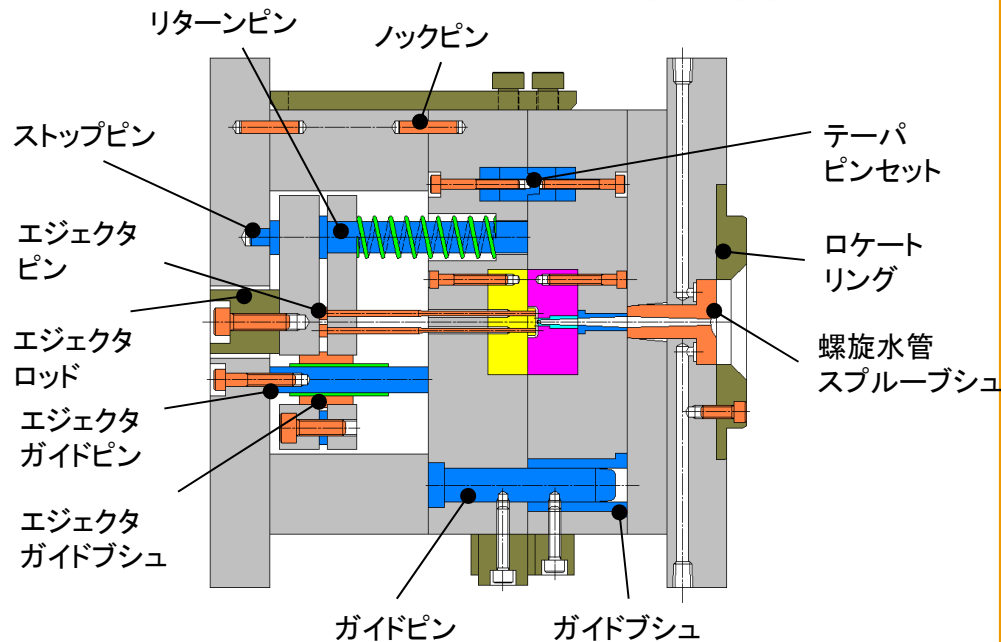
プラスチック金型と金型用部品



エJECTAピン



スプルーブシュ・ロケートリング



●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

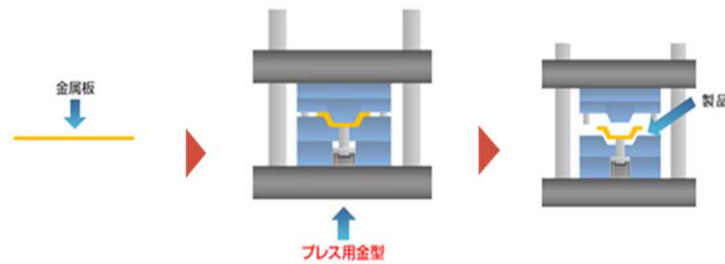
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエJECTAピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

エJECTAピン・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



プレス金型と金型用部品



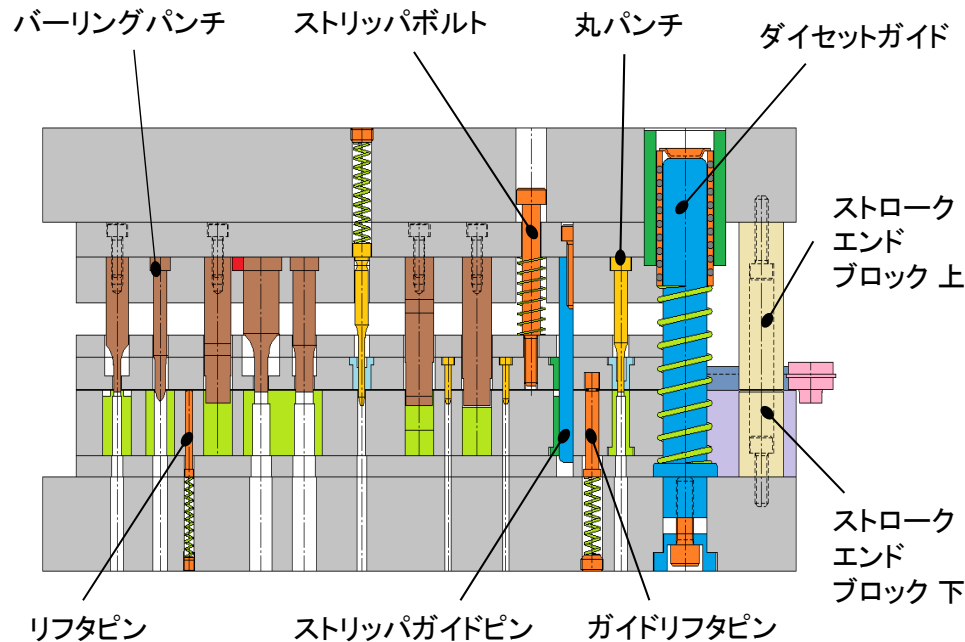
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の中に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品



パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

スピーディーな
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制

2,000台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



CSR経営と企業ビジョン

CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために
CSR経営を実行しています。

企業ビジョン

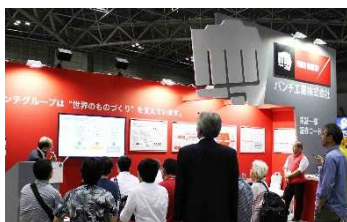
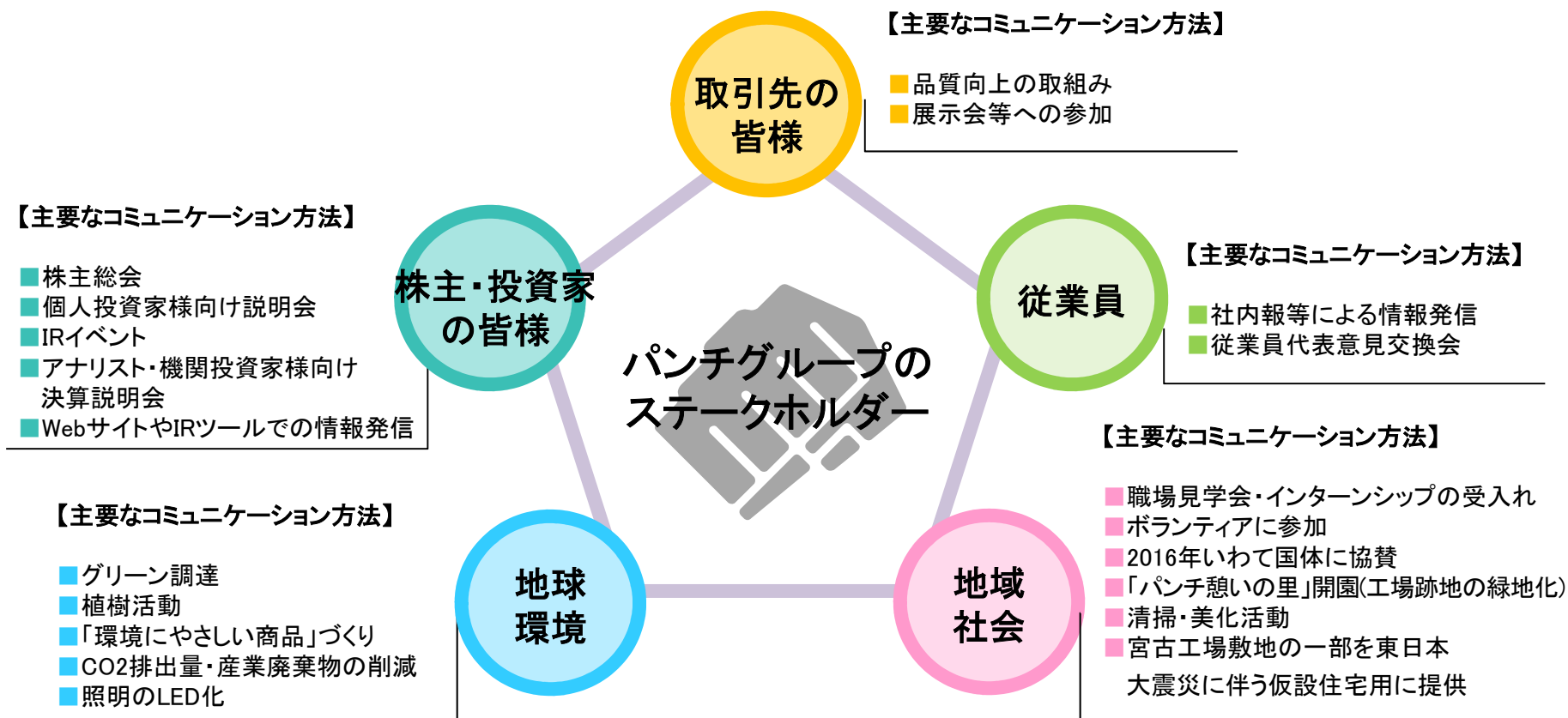


世界のパンチへ

金型部品業界での
トップブランドを確立し
製販一体企業としての
優位性を活かした
高収益企業を目指す



ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動
(2016年いわて国体)



本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報課 電話：03-5753-3130 e-mail：info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。